

年末

口蹄疫等の防疫対策 強化・徹底してください。

年始、
春節

我が国での口蹄疫は平成22年8月以降確認されていませんが、ロシアや中国など近隣諸国では、断続的に発生しております。

特に、しばらく確認されていなかった口蹄疫(A型)が、本年2月に中国広東省の豚農場で発生以降頻発し、発生地域を拡大していることから、我が国への口蹄疫ウイルスの侵入リスクは以前よりも高い状況にあると考えられます。

アフリカ豚コレラについては、いままで我が国では確認がありませんが、コーカサス地方とその周辺で続発しており今後も拡大することが懸念されています。

これから年末年始及び春節を迎えるに当たり、アジア地域における人・物の移動が盛んになり、また、平成26年2月にはロシアのソチで冬季オリンピックが開催され海外渡航者が増加することが見込まれることから、これら地域で発生が確認されている口蹄疫等が我が国へ侵入するおそれもあり十分注意することが必要です。



- ◆ 口蹄疫等が発生している国への渡航は自粛する。
- ◆ 仮に渡航する場合には、畜産関連施設には立入らない。
- ◆ 肉製品等を日本に持ち帰らない。
- ◆ 帰国の際は、動物検疫所で家畜防疫官の指導をうける。
- ◆ 帰国後1週間は、農場等に立ち入らない。



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/kachikueisei/hidakaho/>

農場の衛生管理 チェック！

主なチェック項目

主なチェック項目	
1	家畜が感染する病気の予防や拡散の防止に関する情報を把握している。
2	衛生管理区域をはっきり分かるように設定している。
3	「部外者立入禁止」等の看板を設置して入場制限をしている。
4	出入口付近に車両用の消毒薬を設置している。
5	畜舎の出入口付近に立入者用の消毒薬を設置している。
6	専用の衣服や靴を設置し使用している。
7	立入るものは当日の行動歴や過去1週間以内の海外渡航歴を確認し、むやみに立ち入らせないようにしている。
8	他の畜産施設などで使用したもので、直接、家畜に触れるようなものは洗浄または消毒している。
9	持ち込む衣服や靴の過去4カ月以内の海外での使用歴を確認し、必要な場合を除いて、持ち込ませないようにしている。
10	食品リサイクル資源を原料とする飼料は、加熱その他適切な処理が行われているものを利用している。
11	野生動物が侵入しないように措置を講じている。
12	飲用に適した水を給与している。
13	侵入防止の柵や防鳥ネットなどの野生動物侵入防止対策を講じている。
14	畜舎や器具の清掃消毒を定期的実施している。血液や体液が付着するものを使用する際には、1頭ごとに交換または消毒している。
15	空いた畜舎、畜房などは清掃消毒している。
16	適切な密度で飼育している。
17	糞尿を衛生管理区域外へ持ち出す場合には、運搬車両を消毒している。
18	異状があった場合に家畜保健衛生所に連絡する体制を確保している。
19	毎日、家畜の健康観察を行っている。
20	導入家畜は健康が確認されるまでの間は隔離して飼育する。
21	防疫措置のための埋却、焼却などの処理の準備ができている。